



札幌教区のシノドスの集い



ともに歩む教会のため
交わり | 参 加 | 宣 教

日時：2024年10月14日（月・スポーツの日）9：00～

場所：札幌教区カトリックセンター

参加者名簿

	地区	氏名	所属	グループ No.
1	札幌	佐藤 謙一 師	地区長	F
2		今野 忍	円山	B
3		小野崎 良子	小野幌	C
4		石井 史郎	北一条	D
5		福森 和千代	小樽	E
6		北村 良隆	北26条	A
7	旭川	長尾 俊宏 師	OFM	A
8		小寺 光一	羽幌	B
9		倉 寿彦	稚内	C
10	苫小牧	蓑島 克哉 師	地区長	D
11		万代 淳(アツシ)	伊達	E
12		山田 淳(ジュン)	東室蘭	F
13		大江 邦雄	苫小牧	A
14	函館	祐川 郁生 師	地区長	B
15		大矢 真人	元町	C
16		上野 博司	元町	F
17	釧路	川上 剛 師	地区長	E
18		沖野 正和	釧路	F
19		西野 伸朗	柏林台	D
20		大坪三栄子	帯広	B
21	北見	内藤 孝文 師	地区長代理	C
22		笹原 和宏	北見	D
23		大西 敏治	網走	E
24		笹原 亜子	北見	A
25	教区	勝谷 太治 司教	教区長	A
26	講師	高山 徹(アキラ) 師	大阪高松	-
27	実行委員	佐久間 力 師	札幌教区	-
28		Sr.宮崎 妙子	札幌マリア院	A
29		荒木関 充	旭川六条	B
30		森 朝美(トモミ)	小樽	C
31		Sr.松宮 るみ子	山鼻居住	D
32		西田 淳子(アツコ)	月寒	E
33		鄭 米芝(ジョン・ミジ)	北一条	F

シノドスのための祈り

Adsumus Sancte Spiritus

(聖霊よ、わたしたちはあなたの前に立っています)

聖霊よ、わたしたちはあなたの前に立ち、

あなたのみ名によって集います。

わたしたちのもとに来て、とどまり、

一人ひとりの心にお住まいください。

わたしたちに進むべき道を教え、

どのように歩めばよいか示してください。

弱く、罪深いわたしたちが、

一致を乱さないよう支えてください。

無知によって誤った道に引き込まれず、

偏見に惑わされないよう導いてください。

あなたのうちに一致を見いだすことができますように。

わたしたちが永遠のいのちへの旅を続け、

真理と正義の道を迷わずに歩むことができますように。

このすべてを、

いっどこにおいても働いておられるあなたに願います。

御父と御子の交わりの中で、世々としえに。

アーメン

「札幌教区のシノドスの集い」について

この、札幌教区のシノドスの集いでは、皆さんにこの場で何かを討議し、教区シノドスとしての何かしらの結論を出していただくような場ではありません。現在、教皇フランシスコのすすめで、世界中で広めることを望まれている「霊における会話」という手法があります。この手法について、勝谷司教も、これからの札幌教区のそれぞれの小教区や団体、組織の中において、より聖霊の導きに促された共同体を形作っていくために、とても有効な手段であると考えられています。この「霊における会話」を体験し、また学んでいただくために企画されたものです。ぜひ、この場で体験したものを、それぞれの地区や小教区において活用してみてください。

(実行委員長：シノドス担当 佐久間神父)

スケジュール

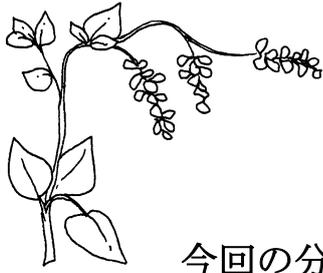
9 : 30	受付開始
9 : 50	開会の挨拶 勝谷司教
10 : 00	高山師の講話 30分
10 : 30	午前の部 各ステップのルールと進行方法説明 (佐久間) 15分 休憩 10分
	・ 聖書朗読と黙想 15分
	・ 第1ステップ 20分 (1人3分+2人おきに黙想2分)
	・ 第2ステップ 15分 (1人2分+2人おきに黙想2分)
	・ 第3ステップ準備 15分
12 : 15	昼食
13 : 00	午後の部 ・ 第3ステップ まとめ・発表準備
14 : 00	休憩
14 : 10	グループ発表 1グループ2分
14 : 30	講師：高山師の講評
15 : 00	勝谷司教の講評
15 : 15	祈りと閉会
15 : 30	修了・解散

※本会の進行具合によって、終わり時間が多少ずれることも予想されます。

「エマオで現れる」ルカ 24章 13-35節

¹³ ちょうどこの日、二人の弟子が、エルサレムから六十スタディオン離れたエマオという村へ向かって歩きながら、¹⁴ この一切の出来事について話し合っていた。¹⁵ 話し合い論じ合っていると、イエス御自身が近づいて来て、一緒に歩き始められた。¹⁶ しかし、二人の目は遮られていて、イエスだとは分からなかった。¹⁷ イエスは、「歩きながら、やり取りしているその話は何のことですか」と言われた。二人は暗い顔をして立ち止まった。¹⁸ その一人のクレオパという人が答えた。「エルサレムに滞在していながら、この数日そこで起こったことを、あなただけはご存じなかったのですか。」¹⁹ イエスが、「どんなことですか」と言われると、二人は言った。「ナザレのイエスのことです。この方は、神と民全体の前で、行いにも言葉にも力のある預言者でした。²⁰ それなのに、わたしたちの祭司長たちや議員たちは、死刑にするため引き渡して、十字架につけてしまったのです。²¹ わたしたちは、あの方こそイスラエルを解放してくださると望みをかけていました。しかも、そのことがあってから、もう今日で三日目になります。²² ところが、仲間の婦人たちがわたしたちを驚かせました。婦人たちは朝早く墓へ行きましたが、²³ 遺体を見つけずに戻って来ました。そして、天使たちが現れ、『イエスは生きておられる』と告げたと言うのです。²⁴ 仲間の者が何人か墓へ行ってみたのですが、婦人たちが言ったとおりで、あの方は見当たりませんでした。」²⁵ そこで、イエスは言われた。「ああ、物分かりが悪く、心が鈍く預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち、²⁶ メシアはこういう苦しみを受けて、栄光に入るはずだったのではないか。」²⁷ そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり、御自分について書かれていることを説明された。

²⁸ 一行は目指す村に近づいたが、イエスはなおも先へ行こうとされる様子だった。²⁹ 二人が、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕方になりますし、もう日も傾いていますから」と言って、無理に引き止めたので、イエスは共に泊まるため家に入られた。³⁰ 一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。³¹ すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。³² 二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明して下さったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。³³ そして、時を移さず出発して、エルサレムに戻ってみると、十一人とその仲間が集まって、³⁴ 本当に主は復活して、シモンに現れたと言っていた。³⁵ 二人も、道で起こったことや、パンを裂いてくださったときにイエスだと分かった次第を話した。



今回の分かち合いのテーマは

「わたしが＜神様に＞与えられるもの」です。



霊における会話の進め方（ルール）

<事前準備>

「黙想の時間」です。聖書朗読や、静かな音楽と共にテーマについて、祈りのうちに自分の意見を思いめぐらす時間です。

- ・ 黙想の時間のなかで、「分かち合いのテーマ」についてじっくりと黙想する。
- ・ 黙想の中で、自分が感じたこと、話したい、分かち合いたいと感じたことをメモに書き留めてください。頭の中でメモするのではなく、紙にしっかりと「書き留める」ことが重要です。3分で発表する内容であることに意識して、メモを書きましょう。
- ・ メモに書き留めた内容は、「変えずに」分かち合ってください。それは他の人の分かち合いの影響を受けないようにするためであり、他の人の意見をしっかりと「聴く」ことに集中するためです。

<第1ステップ>

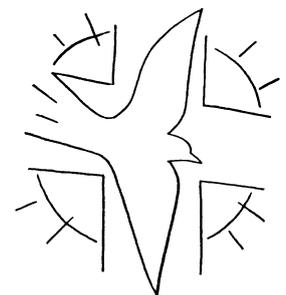
- ・グループのファシリテーターに従って、誰から分かち合うかを決めてください。
- ・最初に分かち合った人から、時計回りでそれぞれの分かち合いをするのがいいでしょう。
- ・3分の時間が過ぎたら、お話の途中でも終了していただきますので、残り時間などを意識しながらお話ししましょう。
- ・二人、ないし三人が分かち合ったところで、2分ほどの黙想の時間を取ります。
- ・他の人の分かち合いに、思ったこと感じたことがあれば、メモしていきましょう。
- ・他の人が分かち合いっている間に、意見を差し込んだり、反対意見を表明するのは控えてください。
- ・自分より前の人の分かち合いを聞いて、自分が話そうと思っていること、分かち合おうと思ってメモした内容を変えるのはやめましょう。これは、人の意見に自分の意見が左右されることを防ぐというだけでなく、意識を集中して聴くためのルールです。

<第2ステップ>

- ・第1ステップで、他の人の意見を聴いて心に響いたこと、心に浮かんだことを分かち合ってください。そこに「第1ステップで言い残した、自分の意見を新しく加えない」ように注意してください。
- ・その時に、「先程、〇〇さんがこんな風におっしゃっていましたが」のような、それが「誰の意見か」は表明しないようにします。これはそれぞれの立場に忖度した意見を出さないようにするためのルールです。
- ・人の意見に、「その考えは間違っている」という意見や、反対の表明はやめましょう。あくまで、自分の意見と違う意見もある、ということを尊重して分かち合うようにしましょう。
- ・この分かち合いにおいても、二人、ないし三人が分かち合ったところで、2分ほどの黙想の時間を取ります。

<第3ステップ>

- ・第1・第2ステップを通して感じた事や、キーワードになる言葉を思い起こして、ポストイットに書き込んでいきます。文章で書くよりは、一言でまとめるのがいいでしょう。一人当たり、3～5枚ほどにまとめるのがいいでしょう。
- ・キーワードを考える際には、ネガティブなワードは、ポジティブな言葉に変換するのがいいかと思います。
(例)「高齢化が進み危機的状況」→「若者がいれば教会は活性化する」
- ・最初の人から順に、みんなの前にそのキーワードの書いたポストイットを出しながら、その言葉と、その言葉について感じたこと、考えたことを発表していきます。自分の番の時に、3枚から5枚に書いたキーワードを全部、一枚ずつ言葉と共に出します。
- ・全員のキーワード発表が終わったら、グループメンバーの目の前に広がっている、キーワード群を眺めながら、5分ほど黙想をします。
- ・その後、皆で意見を交わしながら、関連しているキーワードなどを集めつつ、分類していきます。
- ・それぞれ、分類されたグループを見て、その分類に「名前」を付けていきます。
- ・それらの分類と、名称付けが終わったら、さらに全体を見渡して、それらをまとめる言葉を文章化していきます。聖霊がこのグループをどこに導こうとしているかを感じることがポイントになります。
- ・最後に、そのまとめた文章を発表します。



テーマ:「わたしが<神様に>与えられるもの」

<第1ステップのために> 沈黙の祈りの中で、心に残ったことをここに書きとめます。

第1ステップ:「発言し、聞く」 1人最大3分

一人ひとりが祈りの内に得られたこと、上に書きとめたことを発言し、それを小グループにいる一人ひとりが注意深く聞くことに専念するときです。聞き取れない言葉について質問することが出来ますが、相手の語った内容について、コメントや賛否を述べることをしません。一人ひとりが語っていることに敬意を表しながら、受けとめます。分かち合いの時間は一人最大3分です。

<第2ステップのために> 沈黙の祈りのうちに思い巡らします

沈黙のうちに第1ステップの発言を振り返ります。

グループの一人ひとりの語りを聞く中で心に浮かび上がったこと、その中でもっとも響いたこと、もっとも抵抗を感じたこと、大きな課題と感じたこと、聖霊が働いていると感じたことは？ ここに書きとめます。

- 第1ステップで自分が発言しきれなかったことを追加で話してはなりません。
- 相手の話を否定しないこと。
- 誰の発言かは言わないこと。

第2ステップ:「他者と神にスペースを開く」 1人最大2分

書きとめたことを発言します。発言の時間は一人最大2分です。

第1ステップ同様、敬意を表しながら相手の話を聞きます。

<第3ステップのために> 沈黙の祈りのうちに思い巡らします

沈黙のうちに第2ステップの発言を振り返ります。グループの発言を聞く中で浮かび上がったことをふり返りながら、聖霊がどのようにグループとしてのわたしたちを導かれている重要なポイントを、短い言葉でポストイットに1人数枚に書きとめます。

第3ステップ:「ともに形づくって」 1人約1分

1人数枚のポストイットを読み上げる形で発言し、A3白紙に貼っていきます。聖霊の導きのもとに、発言の内容において一致している部分を見極め、それとともに、一致し難い部分や新たな発見も見出しながら、共同作業を通して得られたものをともに分かち合います。

- 付箋に書かれたことについて意見を交わし、カテゴライズします。そしてグループ毎にテーマを書きます。

<発表の準備>

